

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公開番号】特開2006-343953(P2006-343953A)

【公開日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-050

【出願番号】特願2005-168403(P2005-168403)

【国際特許分類】

G 06 T 17/40 (2006.01)

【F I】

G 06 T 17/40 G

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月8日(2010.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現実空間の画像上に仮想空間の画像を重畳させることで合成画像を生成する生成手段と、当該合成画像を外部に出力する出力手段と、を備える画像処理装置が行う画像処理方法であって、

前記画像処理装置が有する取得手段が、現実空間の画像を取得する取得工程と、

前記画像処理装置が有する抽出手段が、前記取得工程で取得した画像内で、被写体の色と略同じ色を有する領域を抽出する抽出工程と、

前記画像処理装置が有する判断手段が、前記抽出工程で抽出された領域のうち何れの領域が前記被写体の領域であるのかを判断する判断工程と、

前記画像処理装置が有する制御手段が、前記取得工程で取得した現実空間の画像上に仮想空間の画像を重畳する際には、当該現実空間の画像上において前記判断工程で判断したことにより特定した領域上には当該仮想空間の画像の重畳を禁止するよう前記生成手段を制御する制御工程と

を備えることを特徴とする画像処理方法。

【請求項2】

更に、

前記画像処理装置が有する画像取得手段が、撮像装置もって前記被写体を撮像することで得られる画像を取得する工程と、

前記画像処理装置が有する演算手段が、前記取得した画像内における前記被写体の領域のサイズを求める工程と、

前記画像処理装置が有する格納制御手段が、前記計算したサイズを示すデータをメモリに格納する格納制御工程と

を備え、

前記抽出工程では、前記取得工程で取得した画像内で前記被写体の色と略同じ色を有する第1の領域、前記被写体の色と略同じ色を有していない第2の領域を区別する為のマスク画像を生成し、

前記判断工程では、前記マスク画像内で前記第1の領域に相当する領域のうち前記メモリに格納されたデータが示すサイズ以上のサイズを有する領域のみを前記第1の領域に相当する領域、当該領域以外を前記第2の領域に相当する領域とすべく、前記マスク画像を

更新し、当該更新後のマスク画像において前記第1の領域に相当する領域、及び前記第2に相当する領域のうち最も大きい面積を有する領域以外の領域を前記被写体の領域、前記マスク画像内で前記被写体の領域以外の領域を前記第2の領域に相当する領域とすべく、前記マスク画像を更新し、

前記制御工程では、前記更新されたマスク画像上における前記被写体の領域に対応する前記取得工程で取得した現実空間の画像の領域上には仮想空間の画像の重畳を禁止するよう前記生成手段を制御する

ことを特徴とする請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項3】

現実空間の画像上に仮想空間の画像を重畳させることで合成画像を生成する生成手段と、当該合成画像を外部に出力する出力手段と、を備える画像処理装置であって、

現実空間の画像を取得する取得手段と、

前記取得手段が取得した画像内で、被写体の色と略同じ色を有する領域を抽出する抽出手段と、

前記抽出手段によって抽出された領域のうち何れの領域が前記被写体の領域であるのかを判断する判断手段と、

前記取得手段が取得した現実空間の画像上に仮想空間の画像を重畳する際には、当該現実空間の画像上において前記判断手段が判断したことにより特定した領域上には当該仮想空間の画像の重畳を禁止するよう前記生成手段による処理を制御する制御手段と

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項4】

コンピュータを請求項3に記載の画像処理装置が有する各手段として機能させるためのコンピュータプログラム。